

令和2年度

病院事業局運営プログラム

評価票

令和3年7月

病院事業局

令和2年度 病院事業局施策体系

I 第4次山形県総合発展計画の推進

【 】…第4次山形県総合発展計画実施計画の施策番号

1 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり【4】

- (1) 大規模災害への対応など危機管理機能の充実強化【4-1】
 - ① 県民を守る災害対応力の充実
- (2) 保健・医療・福祉の連携による「健康長寿日本一」の実現【4-3】
 - ② 質の高い医療の提供
- (3) 総合的な少子化対策の新展開【4-5】
 - ③ 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり

II 政策の効率的・効果的な展開の促進

- ④ 県立病院の安定的な運営基盤を実現する経営の改善

令和2年度 病院事業局 主要事業実施状況

I 第4次山形県総合発展計画の推進

1 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり【4】

(1) 大規模災害への対応など危機管理機能の充実強化【4-1】



取組みの成果

① 県民を守る災害対応力の充実

【令和2年度における評価と見直しの方向性】

＜行政における計画的な備蓄や災害時医療救護体制等の充実強化＞

（評価）

- ・ドクターヘリ業務、各病院における災害対応マニュアル等に基づく災害訓練、非常電源の確保、災害派遣医療チーム（DMAT）の編成等を実施した。

（見直しの方向性）

- ・コロナ禍も踏まえた災害時医療体制について、各種訓練を通して充実強化を図る。

【令和2年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	決算額 （予算額）	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
安全、安心、信頼 の医療の提供	1,120,260 の一部 (1,219,419)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドクターヘリの運航及び搭載医療機器、その他の医療機器等を整備 ・各種災害訓練を実施、非常電源を確保、DMATを編成 ・新型コロナウイルス感染症に対応するための医療機器を整備（ECMO、個人防護具、緊急読影システム、PCR検査装置、体表面温度発熱監視装置等） ・医療従事者に対して防疫作業手当を給付 ・医療従事者の宿泊施設を確保 ・中央病院外来化学療法センター拡張工事を実施 ・総合周産期母子医療センターを運営 ・県立病院医療安全研修を実施 ・河北病院に山形県PCR自主検査センターを開設 ・がん相談支援センターを運営 	11
計	1,120,260 の一部 (1,219,419)		

(2) 保健・医療・福祉の連携による「健康長寿日本一」の実現【4-3】



取組みの成果

② 質の高い医療の提供

【令和2年度における評価と見直しの方向性】

<医療従事者の安定的な確保>

(評価)

- ・リクルートサイト、SNSや広報誌の活用による戦略的な情報発信、民間主催の臨床研修医ガイダンスへの参加により、医療従事者の確保を図った。

(見直しの方向性)

- ・同様の取組みを継続するとともに、コロナ禍を踏まえ、オンラインに対応した採用活動の取組みを強化する。

<適時適切な医療を提供できる体制づくり>

(評価)

- ・新型コロナウイルス感染症対応のための医療機器の整備、医療従事者に対する防疫作業手当の給付及び宿泊場所確保による環境の整備、臨床検査技師等の専門技術職員の県施設間での相互派遣を実施し、新型コロナウイルス感染症に対応するための医療体制の強化を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症の再流行に伴い、一般県民や企業関係者の間で感染への不安が高まっていることから、県民・企業の方々の不安解消や社会経済活動を支援するため、河北病院に山形県PCR自主検査センターを開設した。
- ・円滑な救急搬送患者の受入れの徹底、手術室の効率的運用を実施し、救急医療体制の強化を図った。
- ・新庄病院改築整備事業について、本体工事に着手した。
- ・精神科医療提供体制の充実を図るため、精神救急患者の24時間365日受入れ体制を取った。

(見直しの方向性)

- ・引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえた、医療機器や医療資機材の整備、病院間連携を行うとともに、並行して、救急搬送患者の受入れも継続し、救急医療体制の強化を図る。
- ・河北病院に開設した山形県PCR自主検査センターの円滑な運用を図る。
- ・新庄病院改築整備事業について、本体工事を着実に進める。
- ・精神科医療提供体制については、引き続き現行体制を維持し、専門性を生かした医療を提供する。

<総合的ながん対策の推進>

(評価)

- ・中央病院及び新庄病院に設置した「がん相談支援センター」において、がん患者及びその家族に対する支援を行い、がん相談体制の強化を図った。

(見直しの方向性)

- ・引き続き、がん相談支援センターの運営より、がん患者及びその家族に対する支援を図る。

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
医療を支える 人材の確保	945,701 の一部 (961,883)	・看護師募集の説明会に参加したほか、ホームページやSNS等を活用した情報発信等により採用活動を実施 ・保健医療大学及び米沢栄養大学との連携による臨地実習等を実施	3
新庄病院改築 整備の推進	353,469 (425,947)	・実施設計業務が完了し、病院本体建設工事に着手	3
大学・地域の医療 機関等との 連携の推進	72,578 の一部 (72,591)	・中央病院患者サポートセンターを設置し、社会福祉士等による入退院支援の強化を実施	3
働き方改革への 対応	982,157 の一部 (585,663)	・医師事務作業補助者や看護補助者を配置し、医療従事者の勤務環境を改善	3
県立大学との 連携推進	154,237 の一部 (227)	・米沢栄養大学生と連携し減塩メニューを作成 ・保健医療大学生を対象とした「公開新人看護師研修」を実施	3
安全、安心、信頼の医療の提供 【再掲】	1,120,260 の一部 (1,219,419)	・ドクターヘリの運航及び搭載医療機器、その他の医療機器等を整備 ・新型コロナウイルス感染症に対応するための医療機器を整備（ECMO、個人防護具、緊急読影システム、PCR検査装置、体表面温度発熱監視装置等） ・医療従事者に対して防疫作業手当を給付 ・医療従事者の宿泊施設を確保 ・中央病院外来化学療法センター拡張工事を実施 ・総合周産期母子医療センターを運営 ・県立病院医療安全研修を実施 ・河北病院に山形県PCR自主検査センターを開設 ・がん相談支援センターを運営	3
計	3,628,402 の一部 (3,265,730)		

(3) 総合的な少子化対策の新展開【4-5】



取組みの成果

③ 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり

【令和2年度における評価と見直しの方向性】

<p><妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実> (評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央病院、新庄病院、河北病院で不妊に悩む方を対象とした外来診療及び不妊治療を実施した。 妊娠、出産から新生児に至るまでの高度・専門的かつ総合的な医療を推進し、周産期・救急医療体制の充実を図るため、中央病院において、総合周産期母子医療センターを運営した。 <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立3病院において、引き続き不妊に関する診療を実施し、不妊に悩む方の支援を行う。 引き続き中央病院における総合周産期母子医療センターを運営し、周産期・救急医療体制の充実を図る。
--

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
安全、安心、信頼 の医療の提供 【再掲】	1,120,260 の一部 (1,219,419)	<ul style="list-style-type: none"> ドクターヘリの運航及び搭載医療機器、その他の医療機器等を整備 新型コロナウイルス感染症に対応するための医療機器を整備 (ECMO、個人防護具、緊急読影システム、PCR検査装置、体表面温度発熱監視装置等) 医療従事者に対して防疫作業手当を給付 医療従事者の宿泊施設を確保 中央病院外来化学療法センター拡張工事を実施 総合周産期母子医療センターを運営 県立病院医療安全研修を実施 河北病院に山形県PCR自主検査センターを開設 がん相談支援センターを運営 	16
計	1,120,260 の一部 (1,219,419)		

Ⅱ 政策の効率的・効果的な展開の促進



取組みの成果

④ 県立病院の安定的な運営基盤を実現する経営の改善

【令和2年度における評価と見直しの方向性】

<高度専門医療を担う人材の育成>

(評価)

- ・学会への参加、研究調査等の医師研修の実施、認定看護師等の医療従事者の専門資格の取得促進を図った。

(見直しの方向性)

- ・院内外での能力向上研修への参加促進、先進的な病院への派遣研修の実施や院内表彰制度の実施などにより、高度専門医療を担う人材育成を図る。

<安定した収益の確保>

(評価)

- ・DPC分析ソフトの活用等により適正なDPCコーディングの実施等、DPC対応の強化を図った。
- ・中央病院における患者サポートセンター開設など、入退院支援の強化により、新入院患者の確保に努めた。

(見直しの方向性)

- ・診療情報管理士を中心としたDPC分析を行い、適正なコーディングの実施や請求漏れの縮減を図る。
- ・引き続き、入退院支援の強化等を継続し、新入院患者の確保を図る。

<医業費用の効率化>

(評価)

- ・経営コンサル業者の活用により、診療資材の価格交渉やコスト削減に関する提案を踏まえた調達を実施した。

(見直しの方向性)

- ・引き続き経営コンサル業者を活用し、医業費用の効率化の取組みを進める。

<個人未収金対策の強化>

(評価)

- ・弁護士事務所へ個人未収金回収業を委託し、個人未収金対策を実施した。

(見直しの方向性)

- ・引き続き弁護士事務所への業務委託を実施し、個人未収金対策を強化するのに加え、速やかな支払督促を徹底する。

<事務部門の強化>

(評価)

- ・医療情報職及び病院経営職として、病院プロパー職の採用を行った。

(見直しの方向性)

- ・病院プロパー職の計画的な採用と、採用した職員の育成を進める。

【令和2年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
高度・専門医療 を担う人材の育 成	215,323 の一部 (311,458)	・特定・認定・専門看護師の資格取得促進、育成 を実施 ・医療技術員の専門資格取得促進を実施	3
安定した収益の 確保	919,668 の一部 (85,438)	・診療情報管理士による診療報酬制度への対応 強化 ・DPC分析ソフトを活用し、精度の高いDPC請求 の実施	3
医業費用の効率 化	8,566 (9,463)	・経営コンサルタントの活用により、医業費用の 効率化を実施	3
個人医業未収金 対策の強化	2,546 (2,537)	・弁護士事務所へ未収金回収業務を委託	3
事務部門の強化	919,668 の一部 (26,000)	・医療情報職及び病院経営職のプロパー職員の 採用	3
計	1,146,103 の一部 (434,896)		